

道内の木材市況概況(令和7年4月)

[主要品目の価格動向]

区分	樹種	形量・品等	仕切場所	全道価格	前月差 (前期差)	市況の動向
素材	トドマツ	径30～38cm 長3.65m 品等込	工場着	14,100	100	(道産材) ・エゾ・トド原木は一部で入荷が減少傾向も、在庫に不足感がない工場が多く、おおむね順調に入荷。一部小径木が不足しているが、少しずつ解消傾向。市況はトドマツが保合～強気配、エゾマツが弱気配～強保合。 ・カラマツ原木は、おおむね順調に入荷しているが、在庫量は減少傾向で、一部地域で不足、また今後の不足を懸念する声もある。市況は弱保合～強含み。
	カラマツ	径14～18cm 長3.65m 品等込	工場着	11,200	△ 100	
	カラマツ	径20～28cm 長3.65m 品等込	工場着	13,100	100	
	*エゾマツ	径30～38cm 長3.65m 品等込	工場着	14,200	△ 100	
	*ナラ	径30～38cm 長2.4m 上 品等3等	工場着	38,200	1,300	
製材	エゾ・トド	厚10.5cm×幅10.5cm 長3.65m 甲Ⅱ-2級	工場渡	69,800	1,100	(道産材) ・エゾ・トド建築材は例年どおり注文があるところもあるが、製材の荷動きは全体的に悪いという声が多い。市況は弱含み～強気配。 ・カラマツ製材は荷動きが悪い状況が続いているとの声が多いが、一部でラミナ、梱包材・パレットの受注が増加しているところがある。市況は弱保合～保合。 (住宅着工戸数) ・3月の新設住宅着工戸数は前年同月比178%。
	カラマツ	梱包材: 定尺	工場渡	41,700	0	
	*ナラ	厚2.7cm×幅15cm上 長2.0m以上 板類1等	工場渡	301,300	0	
合板	シナ	厚4mm 幅91cm×長182cm 2類-1等	問屋着	1,590	0	・市況は保合。
チップ原料材	カラマツ	形量・品等込	チップ工場着	6,800	0	・チップ原料材は保合～強含み。
	広葉樹	形量・品等込	チップ工場着	9,000	0	
チップ	カラマツ	山棒・剥皮	チップ工場サイロ下	8,100	0	・チップは保合～強気配。
	広葉樹	山棒・剥皮	チップ工場サイロ下	10,800	200	

素材価格の推移

品名	R4.5	R4.11	R5.5	R5.11	R6.5	R6.11
ナラ	30,000	30,000	35,000	35,000	33,000	37,000
エゾマツ	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
トドマツ(全)	14,100	14,100	14,100	14,100	14,100	14,100
カラマツ(14～18cm)	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200	11,200

製材価格の推移

品名	R4.5	R4.11	R5.5	R5.11	R6.5	R6.11
ナラ(右目盛)	270,000	275,000	275,000	290,000	290,000	300,000
エゾ・トド(甲Ⅱ)	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000	65,000
カラマツ梱包材	170,000	170,000	170,000	170,000	170,000	170,000

その他木材価格の推移

品名	R4.5	R4.11	R5.5	R5.11	R6.5	R6.11
シナ合板(右目盛)	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,590
広葉樹チップ	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
チップ原料材(広葉樹)	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
カラマツチップ	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,100
チップ原料材(カラマツ)	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	6,800

注1 前月差欄の△印は、値下がりを示す。
注2 価格欄の「-」は、調査項目の変更のため未調査であることを示す。
注3 四半期項目(樹種名の前に「*」を表示)は、当該調査月から直近の調査価格と前期差を示す。
注4 毎年4月に調査対象企業の変更を行っているため、グラフの3～4月価格は接続しないて表示する。